

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-201722

(P2018-201722A)

(43) 公開日 平成30年12月27日(2018.12.27)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 5 D 33/00 (2006.01)	A 4 5 D 33/00	3 E 0 6 7
B 6 5 D 77/04 (2006.01)	B 6 5 D 77/04	A

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2017-108681 (P2017-108681)	(71) 出願人	000006909
(22) 出願日	平成29年5月31日 (2017. 5. 31)		株式会社吉野工業所
			東京都江東区大島 3 丁目 2 番 6 号
		(74) 代理人	100076598
			弁理士 渡辺 一豊
		(74) 代理人	100165607
			弁理士 渡辺 一成
		(74) 代理人	100196690
			弁理士 森合 透
		(72) 発明者	神村 千秋
			大阪府茨木市宇野辺 1 丁目 6 番 9 号 株式
			会社吉野工業所大阪工場内
		F ターム (参考)	3E067 AA04 AB81 AC01 BA01C BA07B
			EA17 EB27 EC01 EC38 EE59
			FA04 FC01 GD07

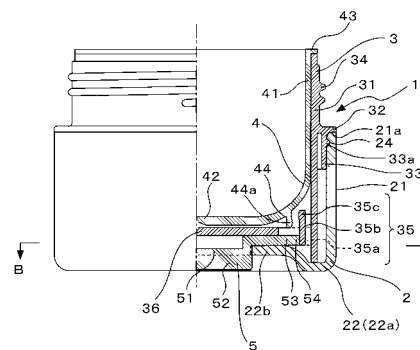
(54) 【発明の名称】 付け替え容器

(57) 【要約】

【課題】レフィル容器の付け替え作業方法が一目で判断できるような容易に理解可能であり、その付け替え作業も簡単な操作で実行できる付け替え容器を提供することである。

【解決手段】外容器 2 は外容器底部 2 2 の中央部に底部開口 2 3 を有し、内容器 3 は内周壁部 3 1 の下部内面に連動部材 3 5 を有し、連動部材 3 5 が、内周壁部 3 1 の内側に向けて延設し、レフィル容器 4 はレフィル底部 4 2 の外面から連結片 4 4 を垂下設し、ロックダイヤル 5 は底部開口 2 3 に収まる底板部 5 1 に摘み部 5 2 を有し、底板部 5 1 から連設される円盤部 5 3 に、連動部材 3 5 を外側に押し広げる外側に拡張した膨出部 5 4 を設けている付け替え容器。

【選択図】 図 4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内容物を収容するレフィル容器（４）と、該レフィル容器を収納する内容器（３）と、該内容器（３）と組み付き外装容器となる外容器（２）と、該レフィル容器（４）と該内容器（３）を嵌合させたり嵌合を解除したりするロックダイヤル（５）とを備えた付け替え容器であって、

該外容器（２）は、外容器底部（２２）の中央部に底部開口（２３）を有し、

該内容器（３）は、内周壁部（３１）の下部内面に連動部材（３５）を有し、該連動部材（３５）が、該内周壁部（３１）の内側に向けて延設し、

該レフィル容器（４）は、レフィル底部（４２）の外面から連結片（４４）を垂下設し、

該ロックダイヤル（５）は、該底部開口（２３）に収まる底板部（５１）に摘み部（５２）を有し、該底板部（５１）から連設される円盤部（５３）に、該連動部材（３５）を外側に押し広げる外側に拡張した膨出部（５４）を設けていることを特徴とする付け替え容器。

【請求項 2】

前記底部開口（２３）は、全周を９０度毎に小径部（２３ａ）と大径部（２３ｂ）をそれぞれ一対配設しており、

前記摘み部（５２）の直線状に延設された両端部の先端部（５２ａ、５２ａ）間の長さが、該小径部（２３ａ）の直径より長く、該大径部（２３ｂ）の直径より短い請求項 1 に記載の付け替え容器。

【請求項 3】

前記大径部（２３ｂ）の両端部近傍に、それぞれ乗り越えリブ（２３ｃ、２３ｃ）を設けている請求項 1 又は 2 に記載の付け替え容器。

【請求項 4】

前記円盤部（５３）が、前記外容器底部（２２）の接地部（２２ａ）から容器内部に窪んだ底壁部（２２ｂ）と前記内周壁部（３１）の下部内面の中央部の内容器底壁（３６）の間に挟まれた空間に位置している請求項 1～3 のいずれかに記載の付け替え容器。

【請求項 5】

前記連動部材（３５）は、該内周壁部の内側に向けて基部（３５ａ）を延設し、該基部（３５ａ）の中央部からは係止部材（３５ｂ）が起立設し、該係止部材（３５ｂ）の上部内面に係止手段（３５ｃ）を突設しており、

前記連結片（４４）の下方外周全面に、該係止手段（３５ｃ）と係止する突起部（４４ａ）を突設している請求項 1～4 のいずれかに記載の付け替え容器。

【請求項 6】

前記連動部材（３５）を内周壁部の下部内面の左右対称状に向かい合う位置に一対設けている請求項 1～5 のいずれかに記載の付け替え容器。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、レフィル容器を付け替え自在な付け替え容器に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来から、クリーム等の内容物が収容される内容器と、該内容器を付け替え自在に収納する外容器と、を備える付け替え容器が知られている。このような内容器は、外容器に対して出し入れ可能なレフィル容器であり、消費者によって外容器内に収納された内容器を取り外して新たな内容器に交換することで、外容器の再利用が図られる。

【0003】

内容器（レフィル容器）の取り外し時にレフィル容器の口元を掴み引き上げることで、外容器から取り外す機能のものが存在するが、レフィル容器の口元が低く掴みづらい等の

10

20

30

40

50

付け替え作業がスムーズに行えない不便さがあった。そのため、外容器の本体容器の壁面の一部に切り欠き部を設け、レフィル容器を掴み易くしたり、コインや上蓋等の別体品を使用してレフィル容器を押し上げて付け替える方法が開示されている（例えば、特許文献1）。しかしながら、レフィル容器の付け替え作業のやり難さや、その作業方法は一見しただけでは理解し難いものであった。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2012-5739号公報

【発明の概要】

10

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明の目的は、上記した従来技術における問題点を解消することであり、レフィル容器の付け替え作業方法が一目で判断できるような容易に理解可能であり、その付け替え作業も簡単な操作で実行できる付け替え容器を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明の主たる構成は、

内容物を収容するレフィル容器と、該レフィル容器を収容する内容器と、该内容器と組み付き外装容器となる外容器と、該レフィル容器と该内容器を嵌合させたり嵌合を解除したりするロックダイヤルとを備えた付け替え容器であって、

20

該外容器は、外容器底部の中央部に底部開口を有し、

该内容器は、内周壁部の下部内面に連動部材を有し、該連動部材が、該内周壁部の内側に向けて基部を延設し、

該レフィル容器は、レフィル底部の外面から連結片を垂下設し、

該ロックダイヤルは、該底部開口に収まる底板部に摘み部を有し、該底板部から連設される円盤部に、該連動部材を外側に押し広げる外側に拡張した膨出部を設けていることを特徴とする。

【0007】

上記主たる構成からなる付け替え容器では、付け替え作業を付け替え容器底部のロックダイヤルの簡単な回動操作のみで達成することができ、その付け替え作業方法は容易に理解可能である。

30

【0008】

また、本発明の他の構成は、底部開口は全周を90度毎に小径部と大径部をそれぞれ一対配設しており、前記摘み部の直線状に延設された両端部の先端部間の長さが、該小径部の直径より長く、該大径部の直径より短いものである。

【0009】

摘み部の先端部間の長さ、つまり摘み部の全長を、小径部の直径より長く、かつ大径部の直径より短くしたことによって、摘み部は大径部だけで摺動可能となり、ロックダイヤルの回動範囲を限定させ、回動動作を行い易くすることができる。

40

【0010】

また、本発明の他の構成は、前記大径部の両端部近傍にそれぞれ乗り越えリブを設けているものである。

【0011】

大径部の両端部近傍に乗り越えリブを設けることによって、レフィル容器と内容器を嵌合させたり嵌合を解除する操作時に、クリック感を与え操作が完了したことを知らせることができる。また、乗り越えリブによりロックダイヤルが外容器に固定状態となるため、利用者は摘み部の先端部が示す位置でロック状態か解除状態かを判別することが可能となる。

【0012】

50

更に、本発明の他の構成は、前記円盤部が前記外容器底部の接地部から容器内部に窪んだ底壁部と前記内周壁部の下部内面の中央部の内容器底壁の間に挟まれた空間に位置しているものである。

【0013】

円盤部が、外容器底部の底壁部と内容器底壁の間に挟まれた空間にあるため、ロックダイヤル回転時にロックダイヤルのガタツキを抑制することができ、スムーズに回転操作を実施することができる。

【0014】

また更に、本発明の他の構成は、連動部材が内周壁部の内側に向けて基部を延設し、該基部の中央部からは係止部材が起立設し、該係止部材の上部内面に係止手段を突設しており、前記連結片の下方外周全面に、該係止手段と係止する突起部を突設しているものである。

10

【0015】

内容器の係止手段と、レフィル容器の突起部がアンダーカット状に係止することによって、内容器とレフィル容器が嵌合することができる。

【0016】

また、本発明の他の構成は、連動部材を内周壁部の下部内面の左右対称状に向かい合う位置に一对設けているものである。

【0017】

連動部材を左右一对に設けることによって、内容器とレフィル容器が確実に嵌合され、レフィル容器がより確実に固定状態とすることができる。

20

【発明の効果】

【0018】

本発明は、上記した構成となっているので、以下に示す効果を奏する。

本発明の主たる構成においては、レフィル容器の付け替え作業方法が一目で判断できるような容易に理解可能であり、その付け替え作業も付け替え容器底部のロックダイヤルの簡単な回転操作のみで達成することができる。

また、本発明の構成においては、摘み部の先端部間の長さを大径部だけで摺動可能とすることで、ロックダイヤルの回転範囲を限定させ、付け替え作業時の回転動作を行い易くすることができる。

30

また、本発明の構成においては、乗り越えリブによりロックダイヤルが固定状態となり、利用者は摘み部の先端部が示す位置でロック状態か解除状態かを判別できる。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明の付け替え容器の正面半縦断面図である。

【図2】図1のA-A線での横断面図である。

【図3】付け替え容器がロック状態での底面図である。

【図4】付け替え容器が解除状態での正面半縦断面図である。

【図5】図4のB-B線での横断面図である。

【図6】付け替え容器が解除状態での底面図である。

40

【図7】レフィル容器を交換する際の正面半縦断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0020】

以下、本発明の実施形態について図面を参照しつつ説明する。

【0021】

図1に示すように、本発明に係る付け替え容器1は、クリーム等の内容物を収容したレフィル容器4と、そのレフィル容器4を収納可能な内容器3と、付け替え容器1の外装容器となる外容器2と、レフィル容器4と内容器3を嵌合させたり嵌合を解除したりするロックダイヤル5と、内容器3にネジ嵌合しレフィル容器4の開口部を覆うキャップ6と、内容器3にキャップ6を組み付けた際に気密性を高めるパッキン7と、を備える構成とな

50

っている。

【0022】

外容器2は、付け替え容器1の外装容器であり、略円筒形状の外周壁部21と、その外周壁部21の下側部分に設けられた外容器底部22と、を備えている。外容器底部22は、円環状の接地部22aと、接地部22aから容器内部に窪んだ底壁部22bからなり、底壁部22bの中央部には略円状の底部開口23が設けられている。底部開口23は、小径部23aと大径部23bがそれぞれ一対配設となるように、底部開口23の全周を1/4に分けた角度90度毎に形成され、大径部23bの両端部近傍には乗り越えリブ23c、23cが設けられている（図3参照）。外周壁部21の上部内面全周には、外容器側係止凹部24が設けられている。

10

【0023】

内容器3は、内周壁部31を介して外鐳状のフランジ部32を設けており、フランジ部32は外容器2の外周壁上端部21aに載置する。このフランジ部32から支持片33が垂下設され、支持片33の外周面全周には外容器側係止凹部24に係止する内容器側係止凸部33aが突設している。内周壁部31の上部外周面には雄ネジ部34が刻設されている。内周壁部31の下部内面には左右対称状に向かい合う位置に一対の連動部材35、35を設け、中央部には内容器底壁36が設けられている。連動部材35は、内周壁部31の内側に向けて基部35aが延設し、基部35aの中央部からは係止部材35bが起立設し、この係止部材35bの上部内面には係止手段35cが突設している。

20

【0024】

レフィル容器4は、略円筒形状のレフィル周壁部41と、そのレフィル周壁部41の下側部分に設けられたレフィル底部42とを有し、レフィル周壁部41の上端部からは外鐳状のレフィルフランジ部43を設けている。レフィル底部42の外面から連結片44が全周に亘り垂下設され、連結片44の下方外周全面には突起部44aが突設している。

【0025】

ロックダイヤル5は、底部開口23に収まる略円状の底板部51と、底板部51から段差部を介して連設される円盤部53を備えている。底板部51から下方にロックダイヤル5を回転させる際に指先を掛ける摘み部52が垂下設されている。摘み部52は底板部51の直径方向にて直線状に延設しており、その両端部の先端部52a、52a間の長さは、小径部23aの直径より長く、底部開口23の大径部23bの直径より僅かに短いため、先端部52aは大径部23bを摺動する。円盤部53は、摘み部52の先端部52a、52aがある方向に外側に拡張した膨出部54、54を形成している。円盤部53は、外容器2の底壁部22bと内容器3の内容器底壁36の間に挟まれた空間に位置しているため、ロックダイヤル5の回転時にロックダイヤル5のガタツキを抑制することができ、スムーズな回転操作を行える。

30

【0026】

キャップ6は、内容器3の雄ネジ部34にネジ嵌合する有頂筒状のオーバーキャップ体であり、円盤状の天壁部61と、天壁部61の端縁から垂下された円筒形状の周壁部62と、を備えている。周壁部62の内周面には、雄ネジ部34にネジ嵌合する雌ネジ部63が形成されている。また、キャップ6の内側には、円盤状のパッキン7が嵌合されている。このパッキン7は、キャップ6の天壁部61の下面に接合されており、パッキン7の外周部が、天壁部61の下面とレフィルフランジ部43の上面との間に挟み込まれてシールされ、付け替え容器1は密封される。

40

【0027】

次に、このように構成された付け替え容器1の作用について説明する。

内容器3に収容されているレフィル容器4内の内容物がなくなった時に、新たなレフィル容器4に付け替える際は、まず初めに図1に示される内容器3に被着されているキャップ6を取り外す。キャップ6を取り外した際にパッキン7も共に取り外される。

【0028】

この状態ではレフィル容器4が内容器3に収まり、ロックダイヤル5が図2や図3に示

50

されるロック状態のため、係止手段 3 5 c が突起部 4 4 a にアンダーカット状に嵌合しており、レフィル容器 4 は内容器 3 に固定されている。

【0029】

次に、内容器 3 からレフィル容器 4 を取り外すために、摘み部 5 2 を指先で摘みロックダイヤル 5 を回動させると、先端部 5 2 a が LOCK 位置側の乗り越えリブ 2 3 c を乗り越え、大径部 2 3 b を摺動し、OPEN 位置側の乗り越えリブ 2 3 c に向かう。ロックダイヤル 5 の回動によって、図 4 及び図 5 に示される様に、円盤部 5 3 の膨出部 5 4 が連動部材 3 5 の基部 3 5 a を徐々に外側に押し広げながら基部 3 5 a を内周壁部 3 1 側に撓ませることで、連動部材 3 5 の中央部の係止部材 3 5 b は外側に押し広げられる。図 6 に示される様に、ロックダイヤル 5 の先端部 5 2 a が OPEN 位置側の乗り越えリブ 2 3 c を乗り越えてロックダイヤル 5 が係止状態となると、係止部材 3 5 b が膨出部 5 4 により外側に押し広げられたことで、係止手段 3 5 c と突起部 4 4 a との嵌合が解除される。

10

【0030】

係止手段 3 5 c と突起部 4 4 a の嵌合が解除されたことによってレフィル容器 4 が抜き取り自在となり、レフィルフランジ部 4 3 などを指先で摘み、図 7 に示される様に、上方に引き上げることで内容器 3 からレフィル容器 4 が取り外される。その後、新たなレフィル容器 4 を内容器 3 内に挿入し、ロックダイヤル 5 を回動させ、先端部 5 2 a が LOCK 位置側の乗り越えリブ 2 3 c を乗り越えてロックダイヤル 5 が係止状態となると、係止手段 3 5 c と突起部 4 4 a が嵌合され、レフィル容器 4 は内容器 3 に固定される。

【0031】

20

このように本発明においては、ロック時よりも嵌合解除時の力を多く必要とする、つまり嵌合解除時に連動部材 3 5 を膨出部 5 4 によって外側に押し広げるために力を大きく掛けるようにしたことによって、運搬時のカバン中や意図しない嵌合解除を防止することが可能である。

【0032】

以上、実施例に沿って本発明の構成とその作用効果について説明したが、本発明の実施の形態は上記実施形態に限定されるものではない。

例えば上記実施形態では、外容器 2 と内容器 3 を外容器側係止凹部 2 4 と内容器側係止凸部 3 3 a により係止させているが、その係止方法は限定されるものではなく、例えばネジ嵌合としても構わない。

30

【産業上の利用可能性】

【0033】

以上説明したように、本発明は、付け替え容器の底部に位置するロックダイヤルの簡単な回動操作のみでレフィル容器の付け替え作業が行え、その付け替え方法は容易に理解できるため、付け替え容器の分野における用途展開をさらに広い領域で図ることができる。

【符号の説明】

【0034】

- 1 ; 付け替え容器
- 2 ; 外容器
- 3 ; 内容器
- 4 ; レフィル容器
- 5 ; ロックダイヤル
- 6 ; キャップ
- 7 ; パッキン
- 2 1 ; 外周壁部
- 2 1 a ; 外周壁上端部
- 2 2 ; 外容器底部
- 2 2 a ; 接地部
- 2 2 b ; 底壁部
- 2 3 ; 底部開口

40

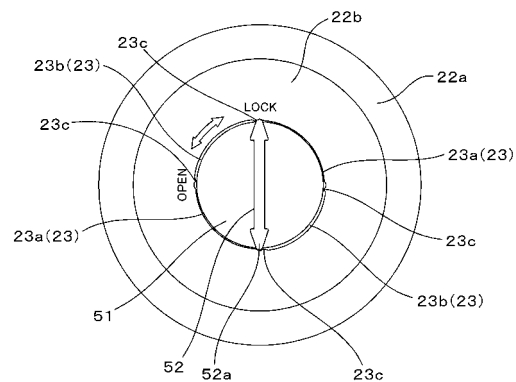
50

2 3 a ; 小径部
2 3 b ; 大径部
2 3 c ; 乗り越えリブ
2 4 ; 外容器側係止凹部
3 1 ; 内周壁部
3 2 ; 内容器フランジ部
3 3 ; 支持片
3 3 a ; 内容器側係止凸部
3 4 ; 雄ネジ部
3 5 ; 連動部材
3 5 a ; 基部
3 5 b ; 係止部材
3 5 c ; 係止手段
3 6 ; 内容器底壁
4 1 ; レフィル周壁部
4 2 ; レフィル底部
4 3 ; レフィルフランジ部
4 4 ; 連結片
4 4 a ; 突起部
5 1 ; 底板部
5 2 ; 摘み部
5 2 a ; 先端部
5 3 ; 円盤部
5 4 ; 膨出部
6 1 ; 天壁部
6 2 ; 周壁部
6 3 ; 雌ネジ部

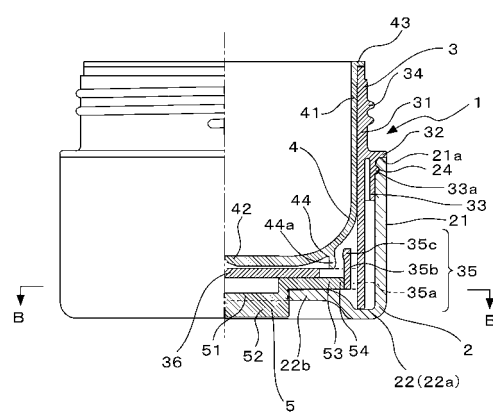
10

20

【図 3】



【图 4】



【图 7】

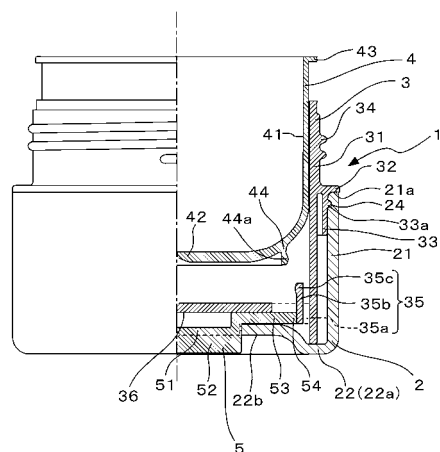


FIG. 1 is a schematic diagram of a circular device 51 in a closed state. The device has a central circular opening 52. A locking mechanism 22 is positioned around the opening, with a locking member 23a(23) and a locking member 23b(23) shown in a locked position. A locking member 23c is also shown. The device is labeled with 51, 52, 22a, 22b, 23a(23), 23b(23), 23c, and 52a. Arrows indicate the 'LOCK' and 'OPEN' directions.